

市報

やまぐち

昭和60年

7月1日

No. 911

人の動き (6月1日現在)	
人口	120,857 (+ 117)
男	57,996 (+ 36)
女	62,861 (+ 81)
世帯数	42,496 (+ 104)
()内は前月との比較	

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 ㈱丸二商行



白石小学校で

夏です・・・
安全な水遊びを
不注意が事故を呼ぶ

七月を迎え、梅雨明けも真近です。もうすぐ本格的な夏がやってきます。

市内の小・中学校では、すでにプール開きをし、子供たちが元気に水しぶきを上げて水泳を楽しんでいます。

昨年、県下で二十九人(市内は一人)の子供が水による事故で亡くなっています。いずれも、ちよつとした不注意が原因です。

子供たちは、水遊びが大好きです。これから暑さが厳しくなるにしたがつて、川や海、プールなどに行く機会が多くなります。

水による事故を起こさないように、お互いに注意しましょう。

補正予算や助役の 選任など7議案を可決

6月市議会定例会

六月十日に開催された市議会定例会は、二十四日に本会議が再開され、十八日に採決された議案第五号(助役の選任)を除き、初日に提案された四議案と最終日に議員提出議案として追加上程された二議案(核兵器廃絶平和都市宣言に関する決議「米穀政策」要求米価、農林水産物市場開放阻止に関する意見書)の討論、採決を行い、いずれも原案どおり可決承認されました。また、市議会の初日、堀市長は、次のような市政概況を報告しました。

市政の概況報告

一般会計の決算見込み

約4千9百万円の黒字

昭和五十九年度山口市一般会計の決算見込みについては、出納閉鎖を終え、ただ今その計数整理をしていますが、歳入総額百九十六億二千八百八十余万円

に対し、歳出総額百九十五億七千九百九十九万四千九百七十七円、歳入歳出差引額四千九百七十七万円の黒字決算となる見込みです。なお、当初予算に財政調整基金及び開発振興基金から四億五千万円の繰入れを計上していましたが、これは執行せずに決算できませんでした。

昭和六十一年四月に社員二十人程度でスタートし、昭和六十五年までに百二十人、更に最終的には三百人程度になる計画で、社員は採用後、約三年間本社で研修し、その後山口に帰り、本格的操業開始となるものです。

NBC山口工場、立地

昭和61年4月スタート

わが国で最大手の情報産業であります、株式会社日本ビジネスコンサルタント(略称・NBC)の山口市進出が決定し、去る五月十日進出協定の調印を行いました。

この企業は、本社系列の山口ソフトウェア工場として立地し、コンピュータソフトウェアの開発と、それに附帯する一切の業務を行うこととしています。

その概要を申し上げますと、調印式は本年九月二十日、何宗貴済南市長ほか五人を山口市に迎えて実施することとし、協定書の調印、友好旗の交換などを行います。調印後は、経済、貿易、文化、教育、科学技術の分野で交流を

同社は資本傘十二億円、昭和五十九年度売り上げは五百八億円という業界トップ企業であります。去る三月の菱洋インテリジエンスの進出と合わせ、二つの本格的ソフトウェア産業が立地しましたことは、中枢管理機能を備える県都づくりの観点から、また、テクノポリス計画、テレトピア計画推進の面からも、一層のほ

済南市との友好都市

9月20日に調印式

去る五月二十二日から二十八日まで、本廣助役を団長とする訪中団を済南市に派遣し、友好都市締結へ向けての具体的な協議を終えました。

進め、視察団や研修生などを相互に受け入れることになり、その交流は行政主体の交流のほか、民間レベルでの交流を積極的に推進するなど、幅広いものにしていくと考えています。このうち、行政主体の交流では、両市とも年間十五人を限度とし、滞在日数は原則として十二日以内と決めています。なお、八月六日から十七日までの間、済南市経済視察団一行が来山されますが、この時に調印式についての最終打ち合わせをする予定です。



済南市人民政府を表敬訪問

第58回全国安全週間

「みんなで考え みんなで築こう 災害ゼロの明るい職場を」

今年も七月一日から七日まで、労働省と中央労働災害防止協会の共同主催により、全国一斉に安全週間が展開されます。山口労働基準監督管内で昨年は三百七十五人、今年になって既に百二十一人の方が労働災害でけがをされています。

安全は、みんなの願いです。職場の安全をもう一度点検しましょう。また、安全管理体制の整備や安全対策の徹底を図りましょう。

プロパンガス

いつも正しい使用を

毎月十日は、「LPガス消費者保安デー」です。七月のテーマは、「ガス器具を正しく使って我家の安全」です。ガスによる事故を防ぐためには、コンロ等ガス器具が誰でも正しく使えるよう日頃から家庭内で話し合っておくことが大切です。また、「ついついっかりミス」による事故が増えています。ガスを使った後はコックや元栓は完全に閉めたか確認する習慣をつけましょう。

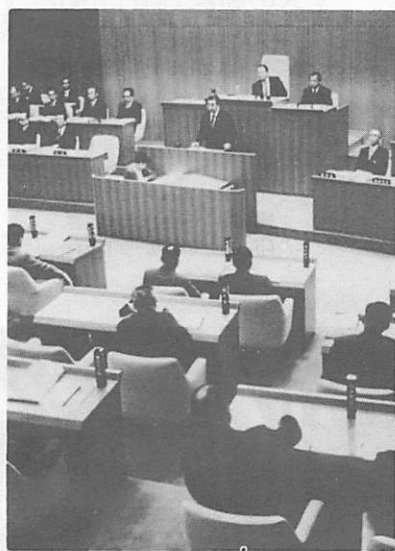
可決された議案の概要

小林助役を再任

小林兼年氏の助役再任について市議会の同意を得ました。

一般会計予算に

2千5百余万円を追加
仁保小学校及び中学校の水



市政概況報告に引き続き、提出議案の要旨を説明する堀市長



小林助役

道管を布設替えるため、歳入歳出に二千五百八十余万円を追加

消防団員等の補償基礎額が引き上げられたので、これに伴い「山口市消防団員等公務災害補償条例」の一部を改正しました。

養護老人ホーム秋楽園の組合規約改正を承認
秋穂町収入役事務兼掌条例の

防ごう非行 助けよう立ち直り 地域ぐるみで 犯罪のない明るい社会を



力を合わせて明るい社会を

七月は、「社会を明るくする運動」の推進月間です。この運動は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとするものです。

施行に伴う組合規約の改正にかかる専決処分について市議会の承認を得ました。

このほか、市議会決議として「核兵器廃絶平和都市宣言」を、また、「米穀政策、要求米価、農林水産物市場開放阻止に関する意見書」を可決しました。

昭和59年度社会を明るくする運動募金

(単位：円)

入		出	
募金額	2,704,101	山等県会募交	2,494,571
預金利息	17,587	口保の司會金	146,000
		等へ更生保	81,117
		会金事務	
計	2,721,688	計	2,721,688

今年も、昨年に引き続き、地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」を重点目標に運動が進められます。皆さんのご協力をお願いします。なお、昨年度のこの運動募金の決算は、右表のとおりです。ご協力、まことにありがとうございます。

山口菱洋システム株式会社設立

市内初のコンピュータソフトウエア産業として、三月十四日山口市に立地が決まった菱洋インテリジェンス株式会社(資本金三千万円、昭和四十七年設立、本社・東京都中央区新川、中村正六社長)の現地法人「山口菱洋システム株式会社」が、五月十六日、神田町に設立されました。新会社の資本金は、一千万円で、社長は中村正六氏です。同社では、現在、大学卒業でソフトウェアの経験のある優秀な人材を山口に求めています。採用予定人員は若干人。年齢は三十歳までです。採用後、三年ないし五年は東京で研修を受けることとなります。詳しくは、同社(神田町5-11山口神田ビル)23-18121へお問い合わせください。

水道局給水装置工事 2業者を新規指定

七月一日から、水道局の給水装置工事指定業者として、次の業者を新たに指定します。
▽山口市水道局給水装置工事第一種指定業者
西川建設工業株式会社(代表者・西川豊、大字平井三六七-1) 24-6601
▽山口市水道局給水装置工事第二種指定業者
有限会社 福永配管所(代表者・福永正義、大字矢原一八四-1) 23-1088

市営バス 市民の足です 月に一度はバス利用を

厳しい市営バスの現状

市営バスは経営の厳しい現状をふまえ、経営改善の具体策を段階的に実施しながら健全化に心血を注いでいます。その過程では、長年愛用していたいた路線の休廃止や減便など、不便をおかけする地域もありました。

職員削減、営業路線の縮小合理化など経営改善に大きく効果を生じたものの、これまでの欠損金の推移は深刻で、昭和五十九年度決算では、不良債務(実質資金不足額)は十八億五千万円となります。県都山口市における市営バスの使命と役割をどのように

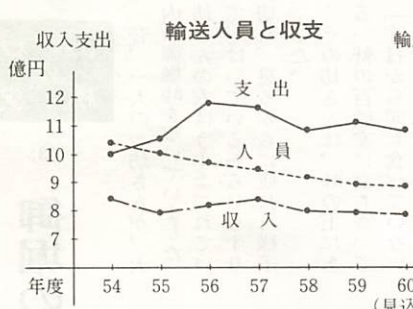
厳しい市営バスの現状を進め、また、巨額の不良債務をどう解決するか、交通事業は、まさに正念場を迎えています。こうした厳しい状況の中、今日も市営バスは皆さんのご利用に感謝しながら走っています。

経営健全化のため 市営バスのご利用を!!

自家用車の激増の中で、減収傾向に歯止めをかけるため、バス利用施設整備や、ダイヤ編成には利用し易さを心がけ、期待を込めて実施しています。減収の主な原因は、利用者の伸び悩みです。市営バスが気軽に愛されるバスとして、維持していくためにも、市民の皆さんが「月に一度は市営バスに乗ってやろう」という気持ちでご利用されるよう、強力なご支援とご協力をお願いします。

貸切バスも、ママさんガイドが皆さんのお供をし、旅を満喫するお手伝いをさせていただきます。市内や職場などで旅行をされる時は、市営バスをご利用ください。

市営バスでは、皆さんのご意見・ご要望をお聞きして、利便の改善サービスに努めています。お気づきがありましたら、交通局(22-2555)にお申し付けください。



で健全育成を

を非行から 全国強調月間」です



夏休みは、各地区でいろいろな行事が行われます。みんなで参加しましょう(昨年8月に行われた大内子ども会フェスティバル)

七月は、「青少年を非行からまもる全国強調月間」です。これから八月の夏休みにかけて、青少年の非行や問題行動などが、とくに増える時期です。

市では、この月間の重点推進事項として、**(1)市民の非行防止意識の高揚**
(2)青少年を取り巻く社会環境の浄化
(3)地域活動の促進などによる青少年の非行防止の三点を積極的におすすめしていきます。

また、この時期は、青少年の健全育成のため、地域でのふれあい活動をすすめるいい季節でもあります。

夏は誘惑がいっぱい

解放感から非行へ

七月は、夏休みの解放感もあって、青少年の不良交友、たばこの喫煙、シンナー遊び、不純異性交遊など増える時期です。

また、九月に例年「家出」が増加するのも夏休み中の交友関係や解放感が抜け切らず、規律のある生活について行けないからだ、言われています。

親子のふれあいを

子供が非行にはいる前には、子供の態度や行動に変化があらわれます。急に落ち着きがなくなったり、言葉づかいや頭髮、服装に変化が起こります。

放任、無関心 非行の始まり

親は毅然とした姿勢を

夏になると、子供たちの夜間の外出が目立って来ます。

夜の十時を過ぎて、子供だけで、繁華街をぶらつきたり、公園や神社の境内にたむろしたりしていること自体が問題です。

店頭ของเกม機に熱中しているのも同様です。親はどういうしつけをしているのだろうかと思われる子供の姿を見かけるこ

市民の協力で環境づくり

青少年の非行防止には、環境づくりが大切です。

環境浄化には、デパート、スーパーをはじめ、各種商店等の協力が必要です。有害図書雑誌自動販売機は、商店に限らず、市民お互いが設置場所等の提供をしないことが第一です。

また、たまり場や空き家、通学路などの映画のポスターなど、より多くの市民の目をもって改善に心がけたいものです。

家庭でルールづくりを

夏休みは、とかく生活が不規則

山口の伝説

③ 御堀の泥まんじゅう

昔、一人のお坊さんが、大内の御堀畔を歩いていた。坊さんの衣はうすよごれていて、はいているわらじもすり切れ、見るからに疲れた様子でした。

その坊さんは、峠の上にある一軒の百姓家に立ち寄り、「昨日から何も食べていないので何か食べてください」と言いました。その家ではちやうど、何か祝いごとでもあるらしく、台所でまんじゅうをつくらせてくれました。

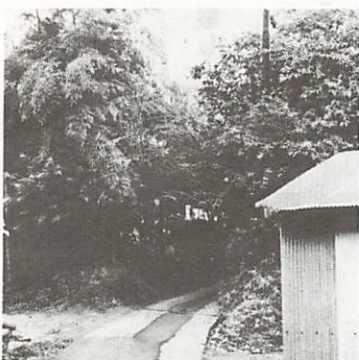
しかし、そこにいた婆さんは「今日は忙しい日じや、乞食などに来られてはたまらん、早よういね」と言っており、坊さんを追いつ返そうとしました。

でも、その坊さんは、「そんなことを言わんと、何か食べ物をごください。そのまんじゅうを一つだけでもよいからいただけませんか」と頼みました。

婆さんは、「これはお前さんにやれるものではない。泥でこしらえてあるまんじゅうじや。食べられるものではない」と言っており、とうとうお坊さんを追い返してしまいました。

さてそのあと、婆さんはほどよくふくらんだまんじゅうを一つ手に取って、食べようと口に入れると、それは泥のまんじゅうになっていました。こんなはずではないと、ほかの一つを口に入れると、これも泥のまんじゅうでした。気が付くと、つくったまんじゅうはみな泥まんじゅうになっていました。

婆さんは、「さては、あのお坊さんに泥まんじゅうと言ったからばちが当たったのか」と気が付きましたが、もうそのときは遅すぎました。そのお坊さんは、諸国を行脚中の弘法大師だったので、食べられなくなったまんじゅうは、みな裏山に持って行き捨ててしまいました。



御堀畔(御堀防府寄り)の泥まんじゅうの出る場所(乗福寺入口より)

× × ×
(内田 伸著・
「防長の伝説」
から)

献血にご協力

〈7月1日〉県運転免許試験場(宮島町) 10:00~15:00
 〈7日〉山口商工会議所会館(中市町) 10:00~15:00
 〈2日〉中の湯前(湯田温泉三丁目) 9:30~12:00
 〈11日〉ダイエー(道場門前一丁目) 13:30~16:00

(5)

地域ぐるみ

7月は「青少年まもる」

地域でのふれあい活動

行事に参加しよう

夏は、地域でのふれあい活動をすすめる好時期です。子ども会活動を中心とした球技大会、キャンプ、海水浴、花だんづくり、勤労体験、清掃活動など、それぞれの地域でいろいろな行事が行われます。

こうした行事を通じて、ふれあいが高まってゆきます。ただ、お世話人さんだけにまかせるということではなく、地域ぐるみ、一人ひとりの積極的な参加により、子供たちのふれあいをもちょうが大切です。

中・高校生の出番づくり

ふれあい活動をすすめる場合、中学生や高校生の参加が大切です。



自然とのふれあいの中で、規則正しい生活が体験できます (平川地区子ども会キャンプ、昨年21世紀の森で)

す。小学生は、地域の行事などに積極的に参加していますが、中学生、高校生になると、受験勉強などの理由で、一般的に参加者が少なくなり勝ちです。中学生や高校生にに応じた、出番づくりで知恵を働かせましょう。子ども会の球技大会の審判を中学生にまかすことなども、出番づくりの一つです。

良い環境と愛の一声

佐賀ミチ子(糸米二丁目)

解放的な夏休みを前に、青少年にはあらゆる誘惑が待ち受けています。ゲームセンターへの出入り、夜間外出、危険な遊びなど……。

親は、子供の日常生活を見守りながら、学校や社会のきまりをしつけて欲しいも

ひとこと

親が子供の鏡に

板谷源治(平川)

非行に走る子は、常に心の片隅にさみしさを抱えています。



板谷さん(市青少年指導員)

それが、次代を託す青少年に、大人としてできる最大のプレゼントです。

子供たちを、あたたかい気持ちでついでやることが大切です。あいさつや声をかけるなど、何げない会話が、非行防止に役立ちます。

そして、何よりも大事なことは、親が自分自身のことばや行動に責任を持つことです。

「子供は、親の後姿を見て育つ」と、いうことわざのように親自身が子供の鏡になることが必要と思います。



佐賀さん(市青少年指導員)

また、地域の大人の責任として、良い環境をつくること、子供に愛の一声をかけることです。



キャンプや海水浴などで、中学生、高校生たちは、自分たちの経験や体験を通して、思わぬ指導力を発揮し、世話をしてくれるものです。

生ごみは カラスに狙われている



カラス退治にはこんな工夫も

可燃物の収集日に、道路わきに出してあるごみの袋が破れて、中のごみが散乱している光景をよく見かけます。この原因は、悪賢いカラスや犬、猫のようです。

可燃物は、収集日の朝八時三十分までに出すことになっており、大半の家庭ではビニール袋やポリバケツなどに入れて出されています。

この可燃物を、市では三十台の収集車で収集にあたっていますが、各地区を回るために収集するのが午後になる地区もあります。

生ごみは、カラスや犬、猫の格好の餌となるため、収集

生ごみの減量化にご協力を

市では、生ごみ処理容器の申し込みを五月三十日で締め切り、約五千五百個の配布を終りました。ご協力ありがとうございました。

これからは、スイカなど水分を多量に含んだ生ごみが多くなる季節ですが、処理容器により生ごみの減量化が期待されます。

なお、この生ごみ処理容器の使い方は次のとおりです。

容器は、日当りのよい場所の土の中に二、三センチ埋める。



ウジの発生を防ぐために、生ごみが二十センチ程度たまったら土を二、三センチの厚さにかぶせて、その上から米ヌカや骨粉をひとにぎりふりかける。

生ごみが一杯になったら、容器を引き上げて、下部の黒く堆肥化した部分から花壇などの肥料としてお使いください。

こうなると、付近に悪臭は漂うし、道ゆく人に不快な印象を与えてしまいます。

これを防ぐため、可燃物はビニール袋に入れるだけでなく、さらにポリバケツに入れるなど、ついても破れないようにして出すようにしましょう。



春の叙勲褒章を受章された市民を迎え、市民祝賀会が六月十一日、市民会館小ホールで開かれた。発起人を代表して堀市長が祝辞を述べ、会場に集まった各界の人たちとともに、栄誉をたたえた。



△21世紀の山口はこう変わる

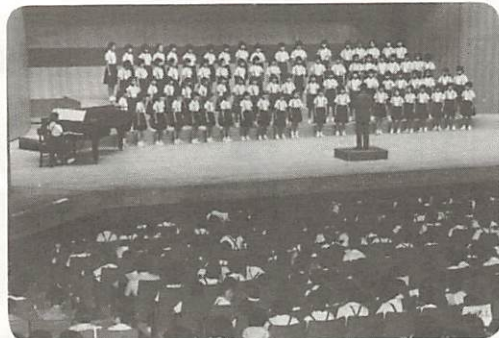
テレコム旬間全国縦断シンポジウムが5月31日、「テレトピア・わが町はこう変わる」をテーマに開かれた。会場の県教育会館にはYTT構想に関心を持つ多くの人が訪れ、犬養智子さんの特別講演やパネルディスカッションなどにより、「テレトピア構想と未来都市」についての理解を深めた。

▷野村益治さんに、紺綬褒章
錦町の野村益治さんに、紺綬褒章の伝達が行われた。これは、大邸に所有の土地、建物、庭園（旧野村酒場）を市に寄付された功績によるものです。



△記録ラッシュ、10個の大会新

市中学校春季陸上競技大会が6月16日、県陸上競技場で開かれた。大会には、11校350人の選手が参加し、男女24種目に熱戦を展開した。なお、記録は天候にも恵まれ、10個の大会新記録が生まれた。



▷館内に響く美しい調べ
市小・中学校合同音楽会が六月十五日、市民会館大ホールで開かれた。参加した十四校は、日ごろの練習の成果を、美しい合唱や演奏で披露した。

みんなの環境みんなが主役
錦川の清掃に431人参加



「環境美化行動の日」と題して六月九日、朝八時から、錦川の清掃がありました。この清掃活動は、六月五日からの環境週間にちなみ「みんなの環境みんなが主役」のスローガンのもとに行われたもので、地元住民をはじめ各種団体から、当初の予想をはるかに上回る四百三十一人が参加しました。参加者は、県衛生研究所裏の橋から国道九号の京面橋までの錦川約四百メートルにわたり、堤防の草刈りとごみやあき缶の除去作業をしました。一戸にも伸びた雑草も多く、急傾斜の堤防ということもあって、草を刈るのもひと苦労でしたが、参加者みんなの協力により、一時間余りできれいになりました。

この清掃で出た草は二トントラックにして約十台分、ごみやあき缶は同じく約二百分にもなりました。

心を通わせる生徒に
大内中・県内初の手話教室

大内中学校(細田久雄校長)では六月十九日、耳の不自由な人たちにも、心を通わせることのできる生徒にと、正課クラブの一つ・ボランティアクラブの部員たち六十二人が、手話に取り組みました。

この手話教室は、市社会福祉協議会の協力もあり、大田すみ子さんの指導で、年間十五回開かれます。

同校は、県ボランティア振興財団の協力校の指定を受け、



今までも通学路の清掃奉仕作業など、積極的に取り組んでいます。

目で見る県政教室

- 期日 8月2日(金)
- 訪問施設 鹿野グリーンハイツ、鹿野町高齢者生産活動センター、徳山市軽費老人ホーム「きずな苑」
- 参加資格・募集人数 市内に居住する18歳以上の人・40人
- 参加料 無料(別に昼食代500円)
- 申し込み 7月19日までに、はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、県広報課「目で見る県政教室」係(滝町1-1 ☎22-3111)へ

スタンドグラス内職講習会

- 日時 7月10日(水)午前9時30分～午後2時
- 場所 市中央公民館(中央二丁目)
- 対象者 内職を希望する人
- 受講料・定員 無料・15人(先着順)
- 持参品 ハサミ、小筆、軍手1枚、古タオル1枚、新聞紙1枚、弁当
- 申し込み・問い合わせ 市商工観光課(☎22-4111)へ

砂利採取業務主任者試験

- 日時 7月31日(水)午前10時～正午
- 場所 県社会福祉会館(大手町)
- 願書受付期間 7月12日まで
- 願書請求先 県工業課(〒753滝町1-1 ☎22-3111)へ。郵送で請求する場合は、封筒に「砂利採取業務主任者試験」と朱書き、返信用封筒(縦26cm、横19cm以上)に請求部数に応じた切手を貼付して同課へ

海外開発青年

- 応募資格 ①20歳以上35歳以下で短大、高専卒業以上の人 ②日系社会等の向上に必要な技術を身につけている人 ③将来移住する希望を抱いており、その適性に富んでいる人
- 募集人員・応募期限 30人・7月15日
- 日本出発 昭和61年2月上旬
- 現地活動期間 3年間
- 応募先・問い合わせ 国際協力事業団中国支部(広島市中区中町7-32日生ビル内 ☎082-247-2851)へ



募集コーナー

県営住宅(平井団地)入居者

- 所在地 大字平井字原
- 構造 耐火構造5階建・3DK
- 戸数 一般向40戸(新築)
- 家賃 月額37,000円
- 入居予定 8月1日
- 受付期間 7月15日～20日の午前9時から午後4時まで(ただし、土曜日は午前11時まで)
- 受付場所 山口土木事務所(神田町)
- 問い合わせ 申込資格などは、山口土木事務所(☎22-1070)または県住宅課(☎22-3111)へ

生活講習会

- 日時・場所 <7月5日>新丁公民館 <9日>平川公民館 <12日>県社会福祉会館(午前10時～正午)
- 内容 衣・食・住に関する講習と製作品の展示など
- 会費・託児費(予約) 250円・120円
- 問い合わせ 山口友の会の浜崎和子(☎0839-28-0668)または高木康子(☎08397-2-1503)へ

山口文化バスの会

嬉野温泉(1泊2日)へ

- 期日 8月25日(日)・26日(月)
- コース <25日>市民会館小ホール入口(午前7時30分出発)～唐津城～相知町鶴殿窟石仏～多久市多久聖廟(国宝)～慈洲園～嬉野温泉(泊)<26日>嬉野温泉～祐徳稲荷神社～基山町滝光徳寺～市民会館(午後5時到着)
- 会費(食事代、入館料などを含む) 大人19,000円、子供・身障者17,000円
- 募集人員 120人(定員になり次第締め切ります)
- 講師 郷土史家・内田 伸氏
- 申し込み 7月24日までに、山口文化バスの会事務局(市交通局内 ☎22-2555)へ

老人敬愛運動推進写真

- 題材 老人敬愛運動の趣旨に沿ったもので、特に地域社会と老人とのかわりあいを表現した作品
- 写真のサイズ 白黒、カラープリントの単写真で四つ切
- 応募資格 中学生以上で県内在住者
- 応募部門 一般と学生(中・高・大生)の2部門
- 送り先 県社会福祉協議会(〒753大手町9-6 県社会福祉会館内)
- 締め切り 7月20日(当日消印有効)
- 応募方法 応募作品には、応募票(住所、氏名、電話番号及び応募部門、画題を表示したもの)を貼付する
- 問い合わせ 県援護老人課(☎22-3111)または県社会福祉協議会(☎24-2777)へ

山口技能開発センター

パソコン・ワープロ講習会

- ◆パーソナルコンピュータ講習会
- 日時 7月27日(土)・28日(日) 午前9時～午後4時
- 内容 BASIC入門
- 定員 10人(学生は除く)
- 受講料 2,500円(教本代を含む)
- ◆ワードプロセッサ講習会
- 日時 7月20日(土)・21日(日) 午前9時～午後4時
- 内容 ワードプロセッサ入門
- 定員 10人(学生は除く)
- 受講料 1,000円(教本代を含む)
- ※申し込みは、7月5日以降に山口技能開発センター開発援助課(大字矢原花ノ木 ☎22-1948)へ。なお、定員になり次第締め切ります。

手紙作文コンクール

- 作品の形式等 手紙文(和文)で、400字詰め原稿用紙5枚以内
- 募集区分 小学生低学年の部(1年～3年)、小学生高学年の部(4年～6年)、中学生の部
- 応募期間 7月20日まで
- 主催・問い合わせ 郵政省、山口郵便局(☎22-1100)へ

「私たちのまち山口」宮野ホタルまつり

- 放映テレビ局 TYSテレビ
- 放映日時 7月9日から23日までの毎週火曜日午前11時35分から40分まで(5分間)
- 放映内容 山口ふれあい館周辺で行われた、ホタルまつりの様子や宮野小学校の児童たちがホタルの飼育に取り組んでいる模様を紹介します。



無料胸部レントゲン検診

次のとおり、レントゲン検診車が巡回します。都合のよい場所で受けてください。対象者は15歳以上の市民です。ただし、学校、職場、病院などで定期検診を受ける人と妊婦を除きます。レントゲン検診車は、時間になりますと次の場所へ移動しますから、早めにお出かけください。

秋穂二島地区

月日	時間	場所
7月8日(月)	9:40～10:00	幸崎 正木道晴宅前
	10:10～10:30	小島 福岡正男宅前
	10:40～11:00	二島 二島消防倉庫前
	11:10～11:30	大里 浅原実宅前
	13:20～13:50	仁光寺 公民館
	14:00～14:20	幸田 開地雅宅横
7月9日(火)	14:30～15:00	上田 公民館
	9:50～10:10	岩屋 赤瀬衛宅前

7月9日(火)	10:20～10:40	長浜 長田ツヤ子商店横
	10:50～11:20	長浜 明代隆宅横空地
	11:25～11:40	納屋 徳光理容院前
	13:20～13:50	惣在所 公民館
	14:00～14:30	南 公民館
7月10日(水)	14:40～15:00	秋穂二島出張所
	名田島地区	
	9:40～10:10	島上 会館
	10:20～10:50	島下 会館
	11:00～11:30	西開作上 会館
7月11日(木)	13:10～13:40	東開作 会館
	13:50～14:20	向山上 会館
	14:30～15:00	西開作下 井本サチノ宅横
	9:40～10:10	向山下 向山三神社
	10:20～10:50	新開作東 中村豆腐店広場
	11:00～11:30	新開作西 会館
	13:10～13:40	新開作沖 会館
	13:50～14:20	昭和西 作業所
14:30～14:50	昭和東 作業所	



健康
コーナー

1歳6か月児の健康診査

- 日時 7月24日(水)受付時間は、午後1時～2時
- 場所 市民会館小ホール
- 該当児 昭和59年1月1日から1月31日までに生まれた幼児
- 診査内容 医師による内科・歯科の健診、検尿、身体測定、保健指導
- 料金 無料(母子健康手帳を持参)
なお、嘉川・佐山・名田島・秋穂二島・陶・鑄銭司地区の幼児(昭和58年11月1日～昭和59年1月31日生まれ)は、7月23日(火)に陶隣保館で行います。

3歳児の健康診査

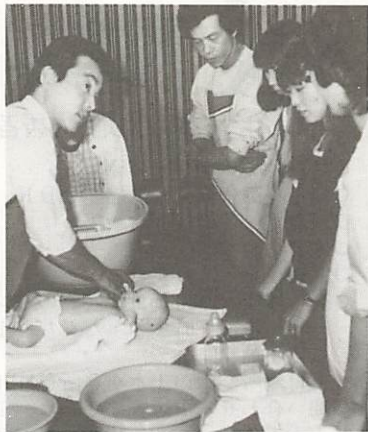
- 日時・対象地区 〈7月9日〉陶・名田島・秋穂二島・鑄銭司 〈10日〉大歳・湯田・平川・吉敷・白石 〈17日〉仁保・大殿・小鯖・宮野・大内(受付時間は、各日とも午後1時～2時)
- 場所・該当児 〈9日〉陶隣保館・昭和57年3月から6月までに生まれた幼児と過去の未受診者 〈10日・17日〉山口保健所・昭和57年7月生まれの幼児と過去の未受診者
- 料金 無料(母子健康手帳を持参)

胃がん検診

- 期日・場所 〈7月10日〉小鯖公民館 〈11日〉佐山公民館 〈16日・17日〉市農協嘉川支所 〈18日〉市農協名田島支所 〈19日〉二島公民館
- 受付時間 申込時にお知らせします
- 対象者 40歳以上の人(妊婦及び胃の手術を受けている人を除く)
- 料金 700円(70歳以上の人及び市民税非課世帯の人は無料)
- 注意事項 当日の朝食、たばこ、水、茶、薬など一切口にしないこと
- 申し込み 市衛生課(☎22-4111)へ。申込者多数の場合は、締め切ることがあります。

母親(妊婦)学級

- 日時 7月3日～24日(毎週水曜日全4回)午前9時30分～正午
- 場所 山口保健所
- 受講料 無料(牛乳代などは実費)
- 持参品 母子健康手帳
なお、7月13日(土)の午前9時から正午まで、両親学級(夫婦対象)も開かれます。詳しくは、山口保健所(☎22-5111)へ



もく浴実習(昨年の教室より)

「明日の親のための教室」

最近では、お年寄りや親から育児知識を学ぶ機会が少なくなりました。そこで、結婚前の人(婚約中の人も含む)、新婚さん、結婚して妊娠中の人を対象に「明日の親のための教室」を開きます。夫婦そろって、ご受講ください。

- 日時 7月24日～10月2日(毎週水曜日・全10回)午後7時～9時
- 場所 平川公民館会議室
- 募集人員 20人(10組)
- 受講料 無料
- 申し込み はがきに住所・夫婦の氏名・電話番号を明記し、7月17日までに、平川公民館(〒753 大字平井1665番地☎22-4235)へ

県民健康づくり7・7大行動

毎月7日は「県民健康の日」です。次により、県下一斉に健康づくり運動が行われます。

- 日時 7月7日(日)午前10時～午後3時
- 場所 商工会議所中市会館3階・駐車場、ちまきや前アーケード街
- 内容 〈中市会館〉歯科保健指導(無料歯科検診、無料フッ素塗布、歯科衛生相談)、献血(ちまきや前)健康チェックと保健栄養指導相談(血圧測定、肺活量測定など)、食品衛生相談、くすりの相談室など



催し物と
お知らせ

弁護士による無料法律相談

- 日時 7月8日(月)午後1時30分～(受付は午後1時～。相談希望者多数の場合は、受付を制限することがあります)
- 場所 市中央公民館(中央二丁目)
- 問い合わせ 市広報課市民相談室(☎22-4111)へ

不要猫を引き取ります

最近、捨て猫についての苦情が多く寄せられています。捨て猫は、野良猫となり、人畜に迷惑を及ぼします。猫が飼えなくなった時、または猫が迷い込んで住みついた場合は、捨てたりしないで必ず届け出ましょう。

- 引き取り日 毎月第一、第三水曜日の午前9時までに市衛生課または各出張所へ(年末・年始、祝日を除く)
- 注意点 猫は、通気性の良い丈夫な袋に入れ、逃げないようにする。

生涯学習作品展

- 期間 7月1日～14日
- 場所 県生涯教育センター研修・展示室(県教育会館3階)
- 内容 県下各地で実践されている生涯学習の成果として創作された作品(絵画・文芸・陶芸など)300点を展示。また、学習グループの紹介コーナーなども併設します。

経営・特許等個別相談会

- 日時・場所 毎月第三金曜日・山口県産業技術開発機構(時間は午前10時～午後5時)
- 相談内容 企業経営に必要な経営・経済・技術情報・特許等についての個別サービスなど
- 料金 原則として無料
- 問い合わせ 山口県産業技術開発機構・商工情報センター(滝町1-1 ☎22-3700)へ

県立博物館

「サンゴ礁」特別展

- 期間 7月10日～8月18日(月曜日休館)
- 内容 日本の古い化石サンゴ礁から現生のサンゴ礁までを、山口県土のおいたちとからみあわせて約750点の資料で紹介
- 観覧料 大人 600円・高大生 300円 小中生 200円(団体割引もあります)

県立図書館7月資料展示

- 「青年一国際青年年にちなんで」展
- 期間 7月2日～30日(月曜日休館)
- 内容 国際青年年は、参加、開発、平和をテーマに諸問題に取り組んでいくこととするもので、今回は関係資料約50冊で、青年の姿を紹介いたします。

7月の休日当番医	外科系		内科系		外科系		内科系			
	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話
7	田村外科	山口☎7527	山県医院	山口☎20206	小川整形外科	小郡☎2887	河端内科	小郡☎3820	新井医院	阿知須2048
14	丘病院	山口☎51100	田中医院	山口☎20053	同仁病院	阿知須2130	岡村医院	小郡☎32053	三河内医院	秋穂2711
21	村田整形外科	山口☎5765	野口医院	山口☎22427	三隅外科	小郡☎1003	柳澤医院	小郡☎3121	共立病院	阿知須2200
28	佐々木外科病院	山口☎22537	野瀬内科小児科	山口☎2655	小林外科	小郡☎31515	岩崎クリニック	小郡☎30637	徳田医院	嘉川2512

■休日当番医診療時間 8時30分～17時30分

■土曜・日曜・祝日の夜間は、休日夜間急病診療所(熊野町 県薬剤師会館内電話☎2266)へ19時～23時

■日曜・祝日の歯科は県口腔センター(吉敷下東 県歯科医師会館内電話☎1820)へ9時～15時

吉南医師会 土曜夜間在宅当番医 診療時間午後7時～10時	内科系 外科系	7月6日	7月13日	7月20日	7月27日	
		田中内科 吉武医院	小郡☎2325 秋穂2330	田村内科 嘉川4749 相川医院 四辻2177	共立病院 阿知須2200 共立病院 阿知須2200	第一病院 小郡☎0333 第一病院 小郡☎0333